# 革に当たりたい。 まれた証と考えている。今 後とも自信を持ち、

# 3月1日に行われた市長の所信表明に対して、3月3日に各会派の代表が総括代表

質問を行い、市長の考えをただしました。主な質問と答弁は、次のとおりです。

### 安 行 定 政 とした市政 改改革を進 を 80

積極的に実施していきたい。

と2期目の決意を伺う。 理解され、同じ方向を向い に据えた市政運営が市民に て市民福祉全体の向上を望 答弁 行財政改革を中心 市長選挙結果の総括

の確保は。

1)

の取り組みは。 ンク構想に期待するが、そ 公約に掲げた人材バ

形態も必要。今後、慎重か 区切る仕組みではない別の 以上に期待するが、年齢で ターの役割には、これまで つ大胆に検討していきたい。 答弁 シルバー人材セン 水とみどりを生かれ

基金の活用の考えは。 東久留米市の価値を高めて たまちづくりに、みどりの いけるよう提案等の対策を 答弁 調査・検討を重ね

拡大と、②今後の保育水準 委託による、①サービスの ひばり保育園の民間

初めての57日からの産休明 三者サービス評価を実施。 け保育・一時保育がある。 延長保育、また、公立では ②18年度から公設10園の第 答弁 ①午後8時までの 行財政改革の実施に

の市政運営の考えは。

進等による移譲事務事業・ 課題と認識し、地方分権推 である。職員自らが重大な 定員適正化をどう進めるか 者の増加傾向が顕著の中で、 既存事務事業を精査し 答弁 今後、事務系退職 課題とその解決策は、 効

> 率的な組織の再編など考え どれだけ図られたか。 者により運営されるスポー ていく必要があると考える。 センターでのサービスは 18年度から指定管理

バスの運行、プロショップ 通年営業に加え、マイクロ した自主事業が提供される 財政危機宣言解除後 市民ニーズに反映 開館時間の延長・

境は、今まで以上に厳しい 市民に市政の実態を示し と容易に想像できる。議員 革に取り組む決意である。 指摘の徹底した情報公開と 今後待ち受ける環

### 改自 行 も を つ

をどう総括しているか。 市長選挙の勝利結果

スが代わる、市民への負担

答弁 これまでのサービ

票差は、この4年間を振り に理解され、前回の選挙を る、この行財政改革が市民 る。今後とも自信を持ち、 返れば大差と同じ意味があ が変わるという現象が起と 巾政運営に当たりたい。 回る得票が得られた。 900 少子・高齢化社会に

といった要請に応えながら

本来の視点とは。

(4月1日

地方自治体としての

れは多くの市民の理解と協

刀があってのこと。改めて

定方向に向かっている。と

本市の財政状況は安

していくことが必要である

浸透させる組織を常に意識 市長の意思を組織末端まで

都立六仙公園

化・最適化を図ることが、 答弁 既存事業を評価検 し、限られた財源の効率 何う。 改革とは何か。 の効果を上げることの追求

答弁 最小の経費で最大

仕組みも重要である。

明言したが、財政調整基金

で、いかに的確な行政運営 地方自治制度等の改革の中 唯一の道であると考える ができるのか、これまで以上 市民に対する責任を果たす

要不可欠な構造改革は躊い責任の重さを認識し、必 実や政策意思決定の迅速化 躇することなく進めていく。 答弁 総合調整機能の充 能力を引き出す組織 執行することが重要である。 りが効率的な予算執行を念 状況にあり、職員一人ひと 入確保の見通しが立たない が必要。現時点ではその歳 れには前年度の歳入の確保 降、行政運営にボトムアッ と考える。財政危機宣言以 イクルを定着させたが、こ プによるP・D・C・Aサ 自助・共助・公助の 質素倹約し事業

割を担うべき時代に入った 域での問題解決に必要な役 けでなく、個人・近隣・地 チャンスとの見識を持ち と考える。自助・共助は に向けた事業を実施するだ 生の充実をもたらす無限の 人ひとりの生きがいや人 答弁 市は直接的に解決

施設の誘導がある。 現在、南沢地区の大型商業 価値を高め、結果として歳 育・環境等の施策も本市の 入増加をもたらしている

りのソフト面での対応は。

実現に努めていきたい。 して生活できる地域社会の

今後、市民の意向等の聴取

の施策に配分するかが課題。

市民の暮らしを守る

安全・安心まちづく

答弁 防犯ボランティア

との4年間を振り返れば 差は僅差との意見もあるが 大差と同じ意味を持つと考 理解されたと考える。 90票 市政に反対する市民に対し に据えた市政運営が市民に どう受け止めているか。 答弁 行財政改革を中心

財政危機を脱したとは思え 道債の先送りの実情では 市有地の売却や下水 売却は続けるのか 市政構造改革に取

るのかを判断していかなけ り組む中で、その必要があ ればならないと考える。 歳入増加という視点

で政策を進める考えは。

行政の実現を目指す改革予 算であると思っている。 推進し、効果的で効率的な みをし、広い意味でのアウ に置いたP・D・C・Aサ トソーシングと人員抑制を イクルによる不断の取り組 答弁 歳入不足の現状の 行政評価制度を基本

的な施策はもとより、教 産業振興策の直接

> 改革予算か。 18年度予算はどこが

> > 団体の登録を制度化し、

責任を負ろ市長として、地

ついては、検討したい。 など、その手法、ルールに

通園・通学路周辺の

万分権の立場から具体的な

どこが改革予算かり

予算

市長選挙の結果、現

の参加依頼や意見交換会開

催等の支援をし、地域と行

与える。

施策の充実も慎重

は、最終的に市民に影響を

行財政運営の結果 の考えを伺う。

会が市民と協力し、早急に 安全対策に行政と教育委員

人的配置することを求める。

答弁 保護者や地域の

政が一体となって推進でき

るよう取り組んでいきたい

たしていく中で、充実・改 ど、市民への説明責任を果 後、行政評価を活用するな に判断する必要がある。今

のパトロールなど、それぞ

全ボランティアにより、校 方々で組織された子ども安

]前の安全指導・登下校時

廃は積極的に行いたい。

乳幼児医療費助成の

動が始まっていると教育委 れの学校の実情に応じた活

員会から聞いている。

間等の連携が図られるよう

施策充実

募集を開始。団体相互

防犯リーダー育成講習会へ

が、市民参加条例はその第 加の仕組みが不可欠という 歩、取り組む意思は。 まちづくりに市民参

であり、市政を預かる長と

市の財政状況を踏まえ、判 えはあるが、国・都の状況、

断していきたい。

今後の保育園のあり

が設けられ、補足給付を行

所者には負担額の軽減制度

答弁 低所得者の施設入

っている。居宅介護者の食

守る市政運営を 市民の暮らし・平和を

での全児童対象に無料化を。 所得制限を小学校就学前ま

憲法9条の見解は。

答弁

撤廃を拡大との考

よる施設入所者等への影響

介護保険制度改正に

に対する対応を伺う。

日本国の最高法規

して当然尊重し、擁護する

つつ制定に向け努力したい ている。一定のルール化は いる幾つかの手法は実施し の公募といった他の自治体 必要とも考えることから で市民参加条例に規定して 答弁 市民説明会、 委員

> 基本理念とし事業を進めて 和の尊重」をまちづくりの 義務がある。これまで「平

> > 方につい

て検討会を設置し、

計画を立てることを求める。

事代は、各施設の料金設定

に基づく負担となっている。

答弁

限りある財源をど

きた。今後とも平和で安心

いては「もっと市民の声を という民意の結果だと思う 聞いて」「丁寧に説明する 分かりやすい市政を

民 意 を大切

図るというが、体質とは。 虚に受け止め、 ところであるが、指摘は謙 努力していく所存である。 ればならないと考えている。 これまでも心を配してきた る得票を重く受け止めなけ 答弁 地方分権の流れの 市役所の体質改善を

中で自立した自治体であり 法や合理的な組織といった 続けるため、職員一人ひと 素。その能力を引き出す手 りの能力・意欲は大きな要 答弁 前回の選挙を上回 市長選挙の結果につ 今後も一層 あるが、 期待するが、雇用希望を持 の役割にはこれまで以上に 存在としてシルバー人材セ え方に対応できる仕組みの 最小の職員で実現していく 代に求められるサービスを 数の抑制が不可欠。その時 実現し続けるには、職員総 めない中、行政サービスを な政府とは何か。 表現している。 は、年齢で区切る仕組みで つ市民という広い観点から ンターがある。同センター ものと考えている。 答弁 別の形態も必要と考 財政危機宣言解除を どのようなものか がバンクの創設と 歳入の増加が見込 れを人材バンクと 現時点で多様な考

総体を体質ととらえている。 としての役割も含め、この 依存体質から脱却したと認

-わが市における小さ

財政効果を飲み込んだ状態 決し、同宣言を解除したと 識してよいか。 しても、改革・改善による 答弁市独自の課題を解

た財政運営に意を用いるこ を進め、中長期的に見通し が続く限り、市政構造改革 とが必要と考える。 P・D・C・Aサイクル

N)、翌年の予算や計画 点を考え (ACTIO そこから改革や改善の視 その実績を踏まえて評価 実績を把握し(DO)、 に反映させる(PLAN) を行い (CHECK)、 ★現状の事務事業の活動

組み立てる方式 ★基礎から始めて全体を

## というサイクル ボトムアップ